

2018年度 授業評価アンケート報告

教育学部 FD・教育研究推進委員会

(1) アンケートの概要

実施及び集計作業を教育学部 FD・教育研究推進委員会が担当している。

① 実施時期

2018年度は、前期分は7月下旬から8月上旬に、後期分は1月下旬から2月上旬に実施した。

② 実施方法

電子メール(Teachers)および教授会で全教員へ周知したのち、アンケート用紙と、提出用封筒に貼り付ける表紙を、電子ファイルとして電子メールに添付し、教育学部事務(FD・教育研究推進委員会担当)よりTeachersへ発信した。教員は各自でこれを印刷・使用して、担当する授業について、無記名回答でアンケートを実施した。

毎年度、前期あるいは後期の最低1科目については授業評価アンケートを実施するよう各教員に義務づけている。(希望者は前・後期とも実施してもよい。)原則として、できるだけ必修の講義または履修学生の多い講義を優先して実施することとしている。

対象となる学生には回答をアンケート用紙とマークシートの両方に記入させ、それらを各教員が回収し教育学部事務(FD・教育研究推進委員会担当)に提出、その後教育学部FD・教育研究推進委員会の担当教員がマークシートによって集計を行った。アンケート結果については、集計作業終了後、集計結果と学部の平均値を併記した集計表とアンケート用紙を各教員に返却した。各教員は、その結果を確認するとともに、その後の授業およびシラバス作成の参考とすることとした。

③ 実施内容

アンケートの内容は、「授業の満足度と評価」が9項目、「学生の授業に対する興味と意欲」が5項目、「アイアシスタンントの使用とシラバスの評価などの授業の周辺的発展」が3項目、計17項目を設定した(後掲の資料1参照)。回答はすべて5肢選択形式である。また、最後に『この授業で「良かった」、あるいは「改善して欲しい」と思うこと』を具体的に書くための自由記述欄もある。

④ 過去5年間の実施科目数

2018年度の実施科目数については、前期41科目、後期33科目、計74科目であった。過去5年間の実施状況は、次の表1の通りである。

表1 過去5年間の授業評価アンケート実施科目数

	前期	後期	合計
2018年度	41科目	33科目	74科目
2017年度	39科目	42科目	81科目
2016年度	35科目	43科目	78科目
2015年度	27科目	42科目	69科目
2014年度	51科目	41科目	95科目

(2) 2018 年度授業評価アンケートの結果

2018 年度（前期および後期）授業評価アンケートの結果については、表 2 の通りである。参考までに前年度の 2017 年度の結果も合わせて載せる。

表 2 2018 年度・2017 年度教育学部 授業評価アンケートの結果

問番号	質問項目	2018 年度 平均	2018 年度 標準偏差	2017 年度 平均	2017 年度 標準偏差
1	この授業は総合的にみて満足のいくものであった	4.4	0.43	4.4	0.43
2	授業内容はよく理解できた	4.2	0.53	4.2	0.49
3	授業の分量と進む速さは適切であった	4.3	0.45	4.3	0.44
4	よく準備された授業であった	4.5	0.36	4.5	0.43
5	先生の話し方は明瞭で、聞き取りやすかった	4.4	0.46	4.5	0.44
6	私語がなく集中できる授業であった	4.4	0.41	4.4	0.40
7	補助教材（資料、教科書、スライド、黒板など）は学習の助けになった	4.4	0.36	4.5	0.40
8	授業の目的、到達目標を達成できた	4.1	0.41	4.1	0.43
9	授業を通して新しい見方・考え方や知識を得ることができた	4.4	0.35	4.4	0.36
10	熱意をもってこの授業にのぞんだ	4.2	0.43	4.2	0.44
11	この授業で学んだことを、さらに勉強したい	4.3	0.43	4.3	0.44
12	この授業に関連してアイアシスタントを使う機会があった	2.6	0.97	2.8	0.89
13	授業時間外に勉強した（予習・復習、レポートなど）	3.6	0.66	3.7	0.66
14	この授業を卒業までのカリキュラムの中に位置づけて把握する機会があった	3.7	0.47	3.7	0.49
15	シラバスは役に立った（授業の目的、到達目標、成績評価）	3.6	0.52	3.6	0.39
16	シラバスにそって授業が行われた	3.8	0.50	3.8	0.41
17	この科目について授業時間外の学習時間（準備活動等を含）は週に平均して何時間ぐらいかを選択してください	2.4	0.64	2.6	0.76

全 17 項目のうち 15 項目の平均値が前年度の結果と同一であり、0.2 を超える平均値の差が出た項目は 1 つもない。全体として例年通りの結果であり、特筆すべきことはない。

① 「授業の満足度」に関する項目（9 項目 問番号 1～9）

9 項目の全ての平均値が 4.0 以上であった。学生の授業に対する満足度については、概ね良好であったと考えられる。

② 「学生の授業に対する意欲と達成」に関する項目（5 項目 問番号 10・11、13・14、17）

5 項目のうち問 13 と問 17 の回答の平均が前年度からわずかに変化したのみであり、問題ない。

③ アイアシスタント使用に関する項目（1 項目 問番号 12）

「この授業に関連してアイアシスタントを使う機会があった」に対する回答の平均値は 2.6 であった。そもそも授業でアイアシスタントを使用することがいいこととも限らないので、アンケートにこの項目は不要であろう。

④ 「シラバスの評価」に関する項目（2 項目 問番号 15・16）

2 項目の平均値は 3.6 と 3.8、これらはどちらも前年度と完全に同一であり、問題ない。

(3) 2018 年度後期授業評価アンケートの項目

2018 年度後期授業アンケートの項目は、次頁の資料 1 の通りであった。

以上.

資料 1

学部授業アンケート（H30・後期）

教育学部 F D ・ 教育研究推進委員会

このアンケートは、授業の改善を目的としています。「本紙」と「マークシート」の両方を回収します。

1. 授業科目名 _____ (曜日 _____ 校時) 担当教員名 _____

2. 「マークシート」の最上段左の空欄に「授業科目名」を記入してください。（その下のマーク欄[A]～[I]は記入不要）

3. あなたの所属課程・コース _____ 学年 _____ 年

4. 以下の質問項目を読み、項目毎に当てはまる選択肢を1つ選んで「本紙」の数字欄に「○」をつけて下さい。また「マークシート」にもマークしてください。

- | | | |
|------------------|--------------------|-------------|
| 1 : まったくそう思わない | 2 : どちらかといえばそう思わない | 3 : どちらでもない |
| 4 : どちらかといえばそう思う | 5 : おおいにそう思う | |

問 1)	この授業は総合的にみて満足のいくものであった	1	2	3	4	5
問 2)	授業内容はよく理解できた	1	2	3	4	5
問 3)	授業の分量と進む速さは適切であった	1	2	3	4	5
問 4)	よく準備された授業であった	1	2	3	4	5
問 5)	先生の話し方は明瞭で、聞き取りやすかった	1	2	3	4	5
問 6)	私語がなく集中できる授業であった	1	2	3	4	5
問 7)	補助教材（資料、教科書、スライド、黒板など）は学習の助けになった	1	2	3	4	5
問 8)	授業の目的、到達目標を達成できた	1	2	3	4	5
問 9)	授業を通して新しい見方・考え方や知識を獲得できた	1	2	3	4	5
問 10)	熱意をもってこの授業にのぞんだ	1	2	3	4	5
問 11)	この授業で学んだことを、さらに勉強したい	1	2	3	4	5
問 12)	この授業に関連してアイアシスタンスト使う機会があった	1	2	3	4	5
問 13)	授業時間外に勉強した（予習・復習、レポートなど）	1	2	3	4	5
問 14)	この授業を卒業までのカリキュラムの中に位置づけて把握する機会があった	1	2	3	4	5
問 15)	シラバスは役にたった（授業の目的、到達目標、成績評価）	1	2	3	4	5
問 16)	シラバスにそって授業が行われた	1	2	3	4	5
問 17)	この科目について授業時間外の学習時間（準備活動等を含）は週に平均して何時間ぐらいかを選択して下さい 1 : 0 時間 2 : 0～1 時間未満 3 : 1～2 時間未満 4 : 2～3 時間未満 5 : 3 時間以上	1	2	3	4	5
問 18)	(オプション項目)	1	2	3	4	5

5. この授業で「良かった」、あるいは「改善して欲しい」と思うことを具体的にお書き下さい。

記入後、集めて袋に入れ、学生センター③番窓口に提出して下さい（2月16日まで）。